

腎被膜下血腫を合併した若齢の水腎症の猫 1 例

鳥取大学農学部共同獣医学科 獣医画像診断学教室 助教 村端 悠介

【はじめに】

水腎症とは腎臓から尿道口までの尿路の閉塞により、停滞した尿の内圧で腎盂が拡張し、形態的变化を示す病態であり、ネコにおいて異所性尿管、尿管の捻れ、梗塞、狭窄、尿路結石、血餅、医原性の結紮、圧迫（腫瘍、血腫、嚢胞、膿瘍）、特発性が発症の原因として知られています。今回腎被膜下血腫を合併した若齢の水腎症の猫の症例についてご紹介いたします。

【症例】

雑種猫、年齢：1歳9ヶ月齢、性別：未去勢雄、体重：5.7 kg。主訴は、元気・食欲はあるが、仔猫の時からお腹が大きかった。最近、飲水量の増加と腹囲膨満が進行し、紹介元の動物病院で腹腔内腫瘍を指摘された。来院時の血液検査では、赤血球、白血球、血小板数の増加、Na、Clの軽度増加が認められた（表1）。腹部X線検査腹背像では、腹部は膨大し、腹腔内の不透過性の亢進、右上腹部から下腹部にかけて大型の腫瘍が認められ、左腎および消化管は腫瘍により左側に圧迫されていた。右側方像では、左腎陰影の増大、消化管の腹側変位が認められた（図1）。超音波検査では、右腎領域から膀胱右頭側にかけて、内腔に液体の貯留した腫瘍が存在していた。腫瘍内部には、隔壁構造が認められ、高エコー性の不定形の内容物が認められた。膀胱と腫瘍に連続性は認められなかった（図2）。腫瘍内の貯留液の細胞診では、血様の液体であり、好中球主体の、赤血球、マクロファージを伴う滲出液だった。腹部CT検査では右腎が確認されず、腎血管が腫瘍に連続していることから右腎由来の腫瘍と診断した。造影CT検査では、腫瘍内の隔壁構造に軽度の造影効果が認められたが、貯留した液体に造影効果は認められず、左腎及び左尿管の排泄性尿路造影は正常だった（図3）。

第2病日に腫瘍の摘出術を実施した。腫瘍は右腎動脈が流入し、背側で後大静脈と癒着していた。右尿管は近位が拡張していたが、膀胱まで肉眼上正常に形成されていた。摘出した腫瘍は大きさが14×12×6.5 cmで、重量は880 gだった（図4）。腫瘍摘出後、一般状態は良好であり第3病日に退院した。病理組織学的検査により、腫瘍は水腎症、被膜下血腫と診断された（図5）。

【考察】

猫の先天的な尿路閉塞の原因として、異所性尿管、尿管の捻転、狭窄、梗塞が報告されている。症例の尿管は、腎臓近位で拡張していたが、結石は認められず、膀胱の開口部まで尿管は形成されていたことから尿管狭窄が水腎症の原因として疑われた。腎被膜下血腫は人医学において、外傷性、非外傷性、医原性、特発性が原因として知られている。非外傷性腎被膜下血腫は、腫瘍との関連を除くと、水腎症による腎臓内の静脈圧の上昇による出血が原因となりうることから、症例は水腎症に続発した被膜内への出血により血腫を合併した可能性があると考えられた。

参考文献

Ragni RA, Fewes D: 2008 Ureteral obstruction and hydronephrosis in a cat associated with retroperitoneal infarction, J Feline Med Surg Pract.

表 1 血液検査結果

全血球計算

RBC	1023	× 104/μl
WBC	222	× 102/μl
Eos	908	/μl
Seg	19068	/μl
Stab	681	/μl
Lym	2043	/μl
Mono	-	/μl
PCV	41.1	%
HGB	14.3g	/dl
MCV	40.2	fl
MCH	14	pg
MCHC	34.8	g/dl
PLT	111	× 104/μl

血液生化学検査

TP	7.4	g/dl
ALB	3	g/dL
ALT	51	IU/L
AST	24	IU/L
ALP	59	IU/L
BUN	23.3	mg/dL
CRE	1.2	mg/dL
Glu	144	mg/dL
Tcho	111	mg/dL
P	6	mg/dL
Na	157	mEq/L
K	3.8	mEq/L
Cl	112	mEq/L

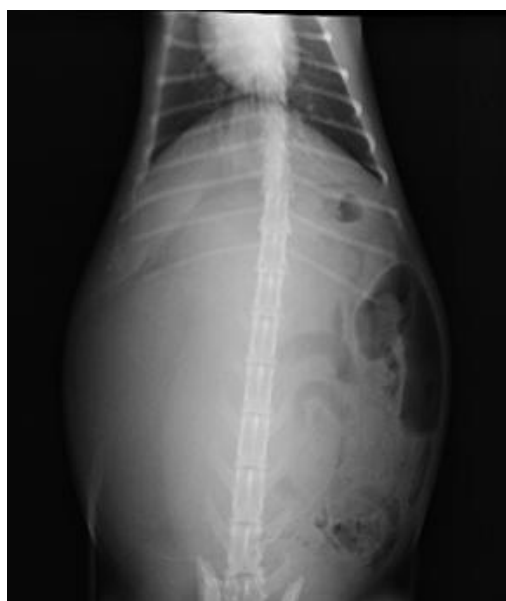


図1 腹部X線写真 腹背像（左）、右側方像（右）

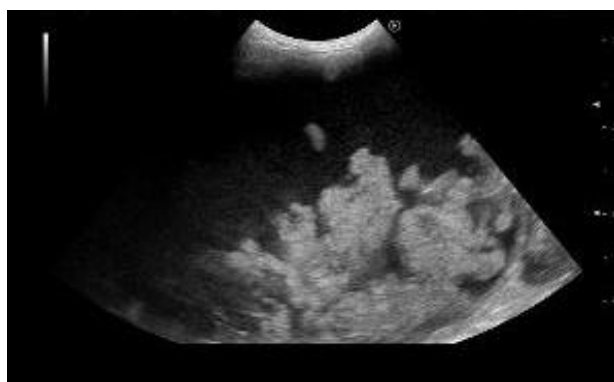


図2 腹部超音波像 腹腔内腫瘍（左）、腫瘍内の高エコー性内容物（右）

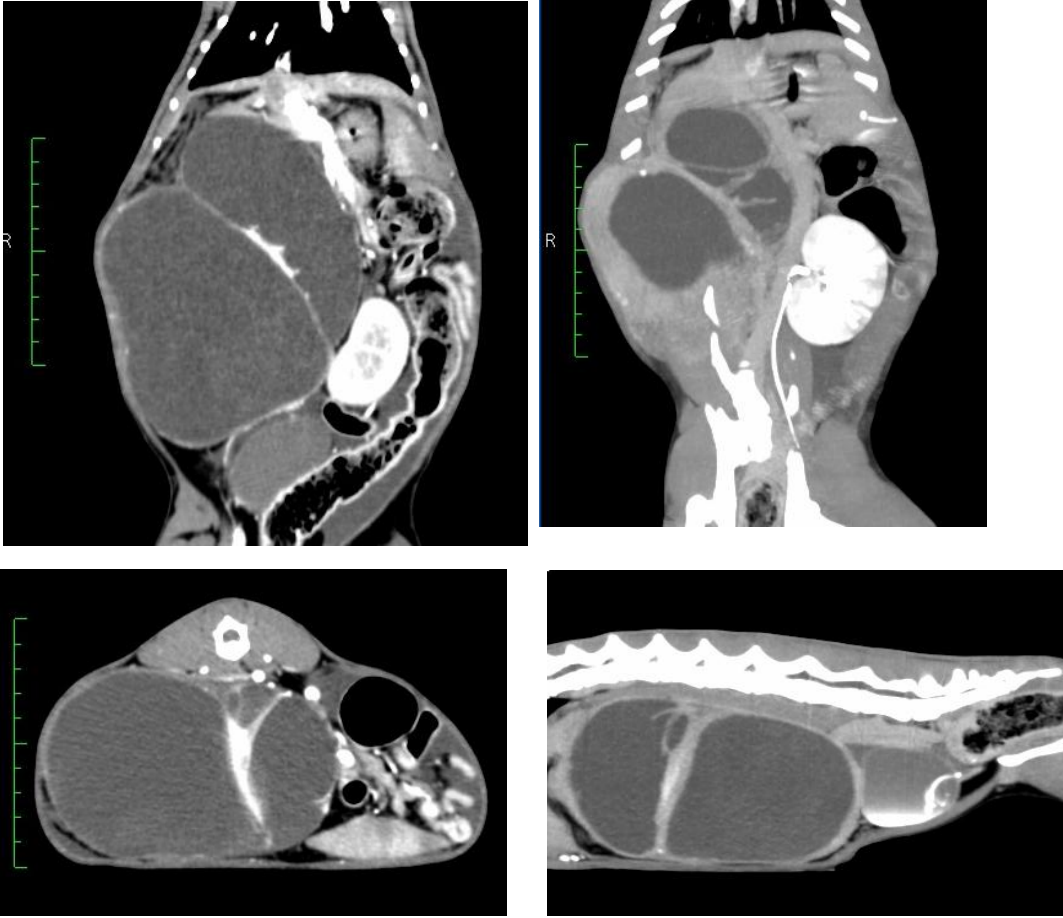
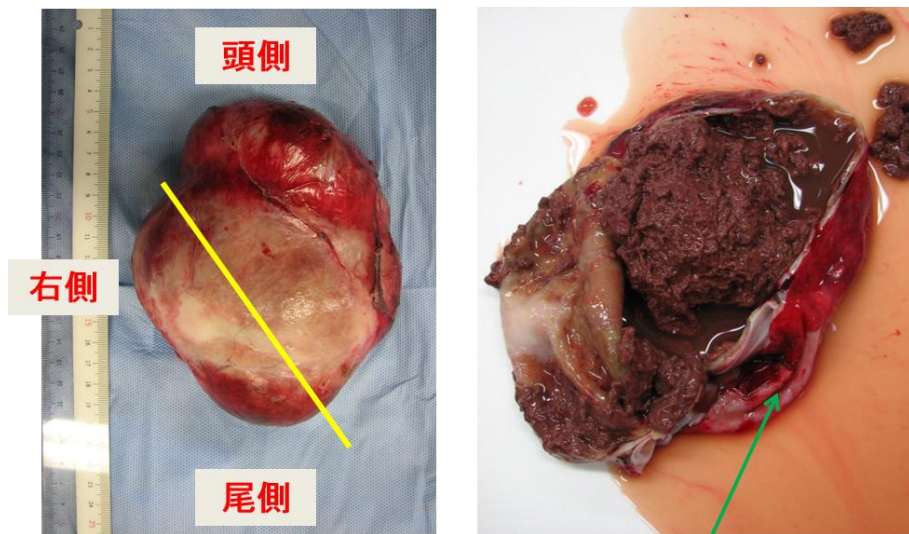


図3 造影CT画像 右腎由来腫瘍背腹断像（左上）、左腎、左尿管背腹断像（右上）、
右腎由来腫瘍横断像（左下）、右腎由来腫瘍、膀胱矢状断像（右下）



尿管

図4 摘出した右腎由来腫瘍（左）と内部（右）の肉眼病理像

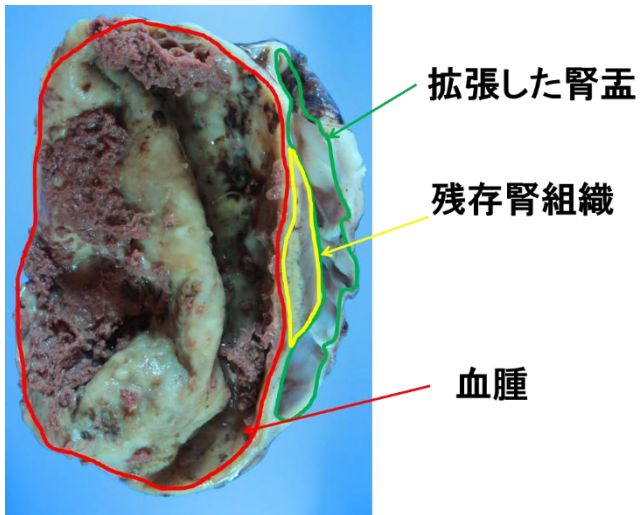


図 5 病理組織学的検査結果により特定された右腎由来腫瘍の構造